

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 888 号	氏名	林田 健志
学位審査委員	主 査	江口 晋	
	副 査	池田 裕明	
	副 査	伊東 正博	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 乳がん術後等に発生する難治性リンパ漏に対して、効果的なリンパ管再生を目指して血管柄付きリンパ節移植(VLNT)に脂肪由来幹細胞(ADSC)移植を加えた新しい治療を検討しており、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 マウスを用い、放射線照射と外科手技にて下肢リンパ浮腫モデルを作成し、VLNT 有無と自己 ADSC 移植有無を組み合わせた 4 群を作成し、2 週間後の新生リンパ管形成を免疫組織学的染色、Photodynamic Eye を用いたリンパ管造影等を行い比較しており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 VLNT と自己 ADSC 移植を併用した群で輸入、輸出両リンパ管の再生を認め、相乗効果が証明された。さらに悪性黒色腫細胞を用いた全身転移観察実験でも、再生リンパ管の機能が実証された。リンパ管再生のメカニズムとしては ADSC からのサイトカイン放出による輸入、輸出リンパ管再生促進が最も考えられた。</p> <p>以上のように本論文はリンパ管再生研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			